

歳入

- Q 不納欠損額が増加傾向にある。5年度中に改善に取り組んだことはあるか。**
- A** 今まで金融機関に郵送で調査をかけていたが、電子サービスで調査できる体制に向けた準備をした。これにより回答時間が短くなり、滞納者に対して早く対応ができるようになる。6年度から実施する。
- Q ペットボトルのきれいな物は引き取り額が高く、汚いものは有償回収になるが町の状況は。**
- A** 町民の協力で一番良いAランクとなっている。主な検査項目は、キャップがついたままか、中身が残っているか、テープや塗料が付着しているかなどの混入率を検査し、点数がつけられる。

福祉・健康

- Q 障がい者が利用する相談支援事業(相談支援給付費)の実績は。**
- A** 実績は1,172件で、約1,800万円である。なお、町内の指定特定相談支援事業所は、社会福祉協議会と「ひまわり」「フラップ」の3事業所である。
- Q 幼児インフルエンザ予防接種の実績は。**
- A** 助成対象者は、1歳から6歳までの未就学児で、約1,200人いた。そのうち、485件の接種が行われた。全員が2回接種したとすると、その半分の人数が接種したことになる。

まちづくり

- Q 沿線まちづくり検討業務を委託する上で、(仮称)No.6駅周辺のまちづくりに関して、庁舎内での課題や目標の共有は。**
- A** 町の産業振興ビジョンなどの関連する計画との整合を図りながら進めていく必要があるため、産業振興の部門とは密に情報共有しながら進めている。
- Q コミュニティバス利用状況調査業務委託料の調査結果がどこに反映されたのか。**
- A** 6年10月からのコミュニティバスの運行計画の変更に活用している。

産業・観光

- Q 観光・プロモーション係の取組の成果は。**
- A** みずほまるのラッピング車両、11件のテレビ・映画の撮影など、町をアピールすることができた。
- Q スマート農業推進事業の補助額約114万円は、どういったものを対象にしたか。**
- A** 補助実績は、GPSトラクターと連動した肥料散布機に約19万円、ラジコン付農業噴霧器が約45万円、ロボット草刈機が50万円の3件であった。



みずほまるのトイカプセル

教育

- Q 英語教育に関する校外学習が5年度からスタートしているが成果は。**
- A** TGG(都と民間が提供する体験型英語学習施設)に外国語の学習が本格的に始まる5年生を派遣。「楽しかった」「今後の英語学習の刺激になった」など、英語の勉強に肯定的な回答が見られた。



体験型英語学習施設(立川市)

- Q 不登校対策の対応は。**
- A** 学級担任による家庭訪問、別室登校、ソーシャルワーカーとの関わり、教育支援室いびきへの通室、専門医療機関への通院など、何らかの支援に不登校児童・生徒全員がつながっていた。5年度中に小学生16人、中学生29人が年度内に学校復帰した。

生活・環境

- Q 空き家等実態調査業務委託料約757万円の成果は。**
- A** 今回234件の空き家が把握できた。利活用できるもの73件、修繕すれば利活用できるもの129件、管理不良空き家32件の三つの分類分けを行った。また、空き家所有者に対してアンケート調査を実施し、さまざまな課題が把握できた。
- Q ゴミ減量にどう取り組んだか。**
- A** 新たなごみ処理方法として、硬質プラスチックの回収、剪定枝をリサイクル業者に有価物として売却することなどを検討した。6年度から実施する。

くらし・安全

- Q 雨水冠水対策のための長岡1号幹線の進捗状況は。**
- A** 事業費ベースで20%、工事の進捗率で31.4%の進捗。シールド工で掘削された雨水管が約20メートル、国道16号のところまで進捗した。



6年8月に開催された工事現場見学会

- Q 防災訓練の実施状況と課題の抽出は。**
- A** 避難所開設訓練と避難行動確認訓練で混乱を起こした地区があった。アンケートでは、見る訓練よりも自分でやる訓練がやりたかったという意見や、訓練を行う時期については再考してもらいたいという意見が多数あった。

今回の議会には、令和5年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議においてすべての会計ともに全会一致で認定しました。



決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、委員長に榎本義輝議員、副委員長に下野義子議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く、13名により、3日間にわたり町側へ質疑し、4日目に議員間討議を行いました。

行政改革

- Q 5年度に「書かない窓口」を試行したが、事業の評価と分析は。**
- A** アンケート結果で「利用して良かった」が9割を超えた。良かった点はヒアリング機能。質問に答えていくと、どこの窓口へどのようなものを持って行けばいいか一覧表で出力され、案内漏れがなくなるのが一番の成果。一方で、この事業の広報が足りなかったと分析している。
- Q 証明書のコンビニ交付ができるようになったが、費用対効果はどうか。**
- A** ランニングコストは約615万円。成果はマイナンバーカードの利活用と交付拡大。6年度から窓口の会計年度任用職員を1人削減することができた。



討議対象となった施策 (P8・P9 参照)

※決算書の詳細は
HPでご覧になれます。

